

1202-5

12月3日 15:45-16:15(日本時間 23:45-0:15)

“Malaysia Aerospace Market Overview”

(マレーシアの航空宇宙市場の概要)

講演者: Pravinganeshha Rajoo(マレーシア投資開発庁)

プレゼンターとコンタクト情報

Mr. Pravinganeshha Rajoo

42 Avenue Kleber

75116 Paris, France

(331) 47276696

pravinganeshha@mida.gov.my

paris@mida.gov.my

(フランス、スペインとポルトガル担当)

マレーシア

- ・2019年の人口 3,260万人。
- ・64の国と投資保証協定を結び、外国人投資家の利益保護。IGA: Investment Guarantee Agreement。
- ・74の国と二重課税防止協定。DTA: Double Taxation Agreement。
- ・GDP: US\$3,653億で一人当たりの名目国内総生産: US\$11,137。
- ・GDP成長率: 2013年～2019年は年率4～5%。

MIDA オフィス

20の海外オフィス(アメリカ3、欧州6、ドバイ、インド、シンガポール、オーストラリア、中国3、台湾、韓国、日本2)。

12のマレーシア内のオフィスで進出企業の支援。

MIDA の活動

- ・プロモーション、世界各地で展開。投資の勧め以外に必要な認証活動なども行う。
- ・認証: 代理店、国内オフィス、R&D。
- ・税制上の優遇措置。
- ・マッチング・グラント。
- ・駐在者、主要ポスト認定。
- ・関税免除: 機械、装置と原材料。
- ・エンジニアリングサポート: 製造、型、金属鋳造、金属プレス加工、機械加工、表面処理、

熱処理、鍛造。

- ・製造業でインダストリー4.0 技術の適用

投資のオプション

- ・3つのステップ:

第一ステップ:代理オフィス、地方オフィス、セールスオフィスにて展開。

第二ステップ:主要ハブ / 本社活動

マレーシア及び外国の会社が活動するに必要な様々な能力を持っている事を見る。

第三ステップ:製造設備、R&D センター、トレーニングセンターで活動。

成長分野

- ・製造では、電気/電子、製造/装置、化学、医療機器、航空宇宙、その他。
- ・サービスでは、ロジスティック、ホテル/旅行、教育/職業トレーニング、Green Technology、オイル/ガスサービス、ヘルスケア、R&D、ビジネスサービス、主たる活動拠点。
- ・質の良い投資を目指す。

投資の動き

- ・2016年～2019年には年平均2,000億RM(リンギット、為替:日本円で約26円)。
- ・プライマリー(鉱山、プランテーション、農業)、製造およびサービス分野に投資先を分類。2020年9月の製造分野は、940億リンギットの投資。

・コロナで製造や消費も落ち込んだが、2020年の9か月で6,530万リンギットの投資が製造関連で有り、全体の85%を占める。740のプロジェクト(件数)が有り、これにより5万人の新規雇用を期待する。

海外よりの進出会社

- ・50か国以上から5,000を超える会社が進出している。
- ・Sony, Samsung, BMW, Mercedes Benz とか Honeywell, Spirit Aerospace, Rolls-Royce, BAE Systems など数多く有る。
- ・国内/世界展開/本社、Honeywell, GE など数多く有る。
- ・様々な業種の会社が支店、調達、流通ハブとして進出。839プロジェクト、100か国からの投資で、104,667名の雇用、143億ドルの投資。

欧州よりの製造分野での投資

- ・2019年にドイツ(92億ドル)、オランダ(81億ドル)、イギリス29億7千万ドル)に続

き、フランスが 13 億ドル。次にスペイン、スウェーデン、デンマーク、アイルランド、ルクセンブルグ、イタリアと続く。

・フランスよりの進出は 300 以上の企業が有り、製造関連で最近では 126 件が認可され、43 億 6 千万リングギット(13 億 1 千万ドル)の投資、10,913 名の雇用。

・マレーシアのフランス企業は、航空宇宙で Safran, Cetium, Thales, Saint-Gobain, Airbus など多数。

マレーシアの航空宇宙産業

・2013 年に将来航空宇宙に力を入れる事を決定した。

・2019 年の売上は RM(リングギット)160 億、投資額は 20 億 8 千万、輸出は 88 億 1 千万、輸入は 128 億、雇用は 24,500 名、会社数は 230 超。

・世界的企業は、エアバス、ボーイング、HEXCEL、SPIRIT Aerospace, GE, Lufthansa Technik, MTU, エアバスヘリコプター、サフラングループ、Honeywell, Dassault, Senior Aerospace, SAM, Celestica, SR Technics, AgustaWestland と GKN Aerospace。

これに加えマレーシア国内企業/研究所は、CTRM, SME Aerospace, Strand, UMW, Contraves, Airod, Sapura Aerospace, Asia AeroTechnik, Global Turbine Asia, MAS Aerospace Engineering, Mycopter Aviation Services など。

MIDA の取組と投資戦略

・マレーシアにおける投資とビジネスチャンス獲得には MIDA が最初のコンタクト先。

・Tier 1 及び Tier 2 の会社のマレーシアへの進出:

SPM (Special Project Mission)と Strike Force - 特別プロジェクトとその稼働部隊、海外事務所による企業判別・誘致

・マレーシア企業が多国籍企業の販売会社/サプライヤーに成る事への助成:

- サプライチェーンプログラム

- 多国籍企業との商談

- 企業間リンケージプログラム

・官民パートナーシップ - 共同事業

・人的資源開発 - トレーニング機関との共同

・優遇策の提供

マレーシアのエコシステム

- ・マレーシアの企業間の連携関係全体を見ると、まずは規制当局では DCA (Department of Civil Aviation), DGTA (Directorate General Technical Airworthiness)と Angkasa (Malaysian Space Agency) が有る。
- ・それをサポートする機関としては、MITI (Ministry of International Trade and Industry), NAICO (National Aerospace Industry Coordinating Office), MIDA (Malaysian Investment Development Authority), MATRADE (External Trade Development Corporation), SME Corp (SME Corporation Malaysia), PEMANDU (Performance Management and Delivery Unit)など。
- ・業界におけるエンジニアリング/設計関連の会社は、Strand Aerospace, Airbus, Caidmark, Mawea, SDMK など。
- ・製造分野では、Tier 1 は Spirit Aerospace, Honeywell, Safran, UMW, また Tier 2 では CITRM, ACM, SAM, SME Aerospace, Senior Aerospace, Karel Manufacturing, Celestica, Plexus、更に Tier 3 から Tier 4 まで様々な会社。
- ・更にシステム統合の会社と MRO の会社が色々有る。これに研究・技術の会社が加わり、全体のエコシステム(産業構造、企業間の連携関係全体)を形成している。
- ・航空宇宙分野では 200 を超える国外および国内企業が有り、66 社は MRO、32 は製造、25 は教育/トレーニング、11 はエンジニアリングと設計に従事している。

サプライチェーンの構造

- ・Tier 1 は Spirit Aerospace, Honeywell, Safran, UMW, Thales, また Tier 2 では CITRM, ACM, SME Aerospace, Senior Aerospace, Karel Manufacturing, Celestica, Plexus、更に Tier 3 から Tier 4 まで様々な会社が有る。
- ・エンジニアリング/設計サービスの会社は Strand, Mawea と SDMK が有る。

MRO の会社

- ・航空機重整備の会社、更に整備ではヘリ、コンポーネント、エンジンの会社が多数。更に運航支援業者、ライン整備やエンジニアリングサービスの会社も有る。
- ・2019 年には航空宇宙と MRO で 180 億リンギットの売上、3,000 名以上の雇用を生み出している。マレーシアは MRO に強い。

製造箇所

・マレーシアは 30 年以上の航空宇宙産業の歴史が有り、今や多くの SME は一貫生産が出来る様になり、シートメタル成形、CNC 加工、表面処理、非破壊検査、検査をカバーしている。

・CTRM は A320 の翼部分の 60%を担当。UMW はロールス・ロイスの Trent 1000 および Trent 7000 用のファンケースを製造。ACM は B737 の翼部分の 50%を担当。SAM は B737 用ファンケースの 60%を担当。Spirit は A350XWB の機体の複合サブ組み、など。

人材育成

・今後の業界の人員増に対し、航空宇宙産業官民の協力の下、熟練労働者を増やす様に活動している。30 の機関において、航空に関するコースが有り、学位を与えている。

マレーシアにおけるビジネスチャンス

- ・コンポーネント/部品製造分野。
- ・軽飛行機及び企業向け航空機の製造及び組立。
- ・航空機/コンポーネントの MRO。
- ・航空機改造と改良。
- ・製造やシステム統合に加えエンジニアリング、エレクトロニクス、複合材などの分野のサプライチェーン。

経済指数

- ・2019 年の指数は、
GDP 成長率 4.3%、インフレ 1.2%、GDP3,111 億ドル、一人当たり GDP \$ 10,809
失業率 3.4%、外貨準備高 1,043 億ドル。

・東南アジアは今後 5 年間で 4.9%成長する予想。過去 20 年間の GDP は 5.3%の伸び。アジアは 2023 年までに世界の GDP の 48%に伸び、2030 年までに世界経済成長の 60%に達する予想。

投資政策

- ・海外企業のマレーシア進出において、100%の株主所有権が製造および選択されたサービス分野において可能。資本、利息、配当金と利益の本国送還は自由。国外居住者の雇用について、外国人には会社の重要な役職であれば永久に与える、また期間付きポストでは 1~5 年間で与える。
- ・知的財産は国際基準に従い保護する。
- ・60 か国以上と投資保証協定を結んでいる。

有能な人材

- ・世界人材ランキングでマレーシアは 2019 年に第 22 番。年間の卒業生は全体で 13 万人。
- ・マレーシアの大学に加え、外国の大学も進出している。
- ・マレーシア人がフランスでは 700 人以上が 20 の都市で勉強している。平均して年間 80 名の卒業生を出している。インターシッププログラムも有る。

エコシステムの追求

- ・今後の有望分野として半導体が有る。国内外の企業が参加し、R&D/IC 設計、ウエハー製造、組立、テストに携わっている。半導体産業は電動自動車の将来に重要。

エンジニアリングサポート会社

- ・型/金型分野で 446 社、金属鋳造で 95 社、機械加工で 325 社、金属プレス加工で 145 社、表面処理エンジニアリングで 125 社、熱処理で 17 社、鍛造で 8 社、金属成形で 800 社が有る。

投資サポート

- ・20～25 年に渡る優遇策を用意している。まだ初めの段階では、5 ないし 10 年間に渡り、所得税の 70%あるいは 100%免除。5 年以内に発生した適格設備投資では 60%ないしは 100%の投資に対する免税。再投資に対する免税は、15 年の連続期間で発生した適格設備投資に対し 60%の課税控除、特別パッケージ投資への優遇策が有る。

- ・インダストリー4.0 関連の特別優遇策も下記のように色々有る。

Industry 4WRD Readiness Assessment, Industry 4WRD Intervention Fund, Industry Digitalisation Transformation Fund, Business Loan Guarantee Scheme, Incentives for Vendor Development Programme, Automation Capital Allowances, Digital Transformation Acceleration Programme, Domestic Investment Strategic Fund / High Impact Fund, Smart Automation Grant, Special Incentives for Electrical & Electronics Industry.

経済回復計画

- ・マレーシアに外国の製造会社が拠点を移す場合の優遇策が有る。新規の会社の場合、3 億～5 億リングギットの設備投資に対し 10 年間は税金を無しとする。5 億リングギットを超える場合は 15 年間に延長する。

- ・現存の会社に対しては、海外での生産拠点をマレーシアに戻し、投資額が 3 億リングギット以上の場合は 5 年間の税免除。

マレーシアの良い面

・経済が安定し、自由な投資政策、企業寄りの政府、MIDA による誘致が有り、また発展する ASEAN に位置し、インフラが良く、他国への接続も良い。英語を話し、訓練・教育を受けた労働力が有り、知的財産が守られている。50 年の産業ベースが有り、外国人居住者にとって住みやすい国、とアピールし、MIDA にコンタクトして欲しいと要望。